

団体名	広島県	所属	警察本部広報課	他団体等との連携	—
連絡先	広報係 (082)228-0110(内線 2175)				

取組事例名	県警メールマガジンを活用した迅速・的確な情報発信等の取組	取組期間	平成16年～
--------------	------------------------------	-------------	--------

取組の概要 ～ 県警察メールマガジンを活用した迅速・的確な情報発信等の取組	
警察、行政及び地域住民が一体となった自主防犯活動が求められる中で、県民の犯罪被害防止と地域における自主防犯活動の後押し、県民一人ひとりの意識改革と防犯意識を高揚させるため、各警察署のインターネット端末から利用登録を行った会員に対し、管内の情報3種類（不審者情報、防犯情報、お知らせ）のメールをタイムリーに配信する取組を行った。	
取組の背景 ～ 警察、行政及び地域住民が一体となった自主防犯活動	
安全安心なまちづくり、犯罪のない社会をつくるためには、警察のみの活動では達成することはできず、警察、行政及び地域住民が一体となった自主防犯活動が求められる。そのためには、県民一人ひとりが「防犯、安全安心」に関心を持つことが重要であり、その意識改革を促す施策の一つとして運用することとなった。	
取組のねらい ～ 一人ひとりが犯罪回避行動をとること	
県民の犯罪被害防止と地域における自主防犯活動を後押しする。 県民一人ひとりの意識改革と防犯意識を高揚させる。	
取組の具体的内容 ～ タイムリーな情報発信	
<p>県警ホームページやミニ広報紙などに掲載しているQRコードなどから、利用登録を行った会員に対し、登録者が選択(複数可)した警察署が配信する「不審者情報」「防犯情報」「お知らせ」の3種類の情報を配信している。</p> <p>1 「不審者情報」 ちかん、声かけ、つきまとい、露出、写真撮影 など 【例】～〇〇町で声かけ事案が発生（〇〇警察署） 〇月〇日（土）午後〇時〇分ころ、〇区〇〇町1丁目の路上において、自転車帰宅中の小学生女子が、バイクに乗った男に「お菓子買ってあげるからこっちおいで」と声をかけられる事案が発生しました。 ※ 不審者に出くわした時は、周囲の人に助けを求め、すぐに110番通報しましょう。 情報があれば〇〇警察署まで。</p> <p>2 「防犯情報」 強盗、窃盗、器物損壊、ひったくり など 【例】～コンビニ強盗の発生（〇〇警察署） 〇月〇日午後〇時〇分ころ、〇〇町のコンビニにおいて強盗事件が発生しました。 犯人は、店員に包丁を突き付け、現金〇万円を奪って逃走しました。 犯人は30歳くらい、身長〇センチ、中肉、白色上衣です。 ※ 犯人に関する情報は、〇〇警察署まで。</p> <p>3 「お知らせ」 各種行事の案内等 地域交通安全運動、イベント など 【例】～第10回防犯絵手紙の募集開始について 今年もみなさんが防犯について日頃感じていることなどを描いた絵手紙を募集しています。・・・など</p> <p>★ 平成25年中の配信件数～2,163件 会員登録数18,095アドレス</p>	

取組を進めていく中での課題・問題点 ～ 情報確認のマンネリ化とタイムリーな情報発信

配信情報については、1件1件違うものではあるが、現状は内容の記載ぶりが単一であることから、登録会員の内容確認行為がマンネリ化してしまう恐れがあり、いかに関心を惹く配信内容としていくかが課題である。

また、情報の中でも、不審者情報は、タイムリーな発信が求められ、その内容が虚偽ではないかとの疑念が持たれる場合であっても、100%虚偽であると断定できない場合は、発信せざるを得ないのが現状であり、発信時の判断基準が問題となる。

創意工夫した点 ～ 住民が求める情報の発信

平成22年4月までは、警察本部主管課が、県警メールマガジン会員に同じメールを一斉配信していたが、平成22年5月にリニューアルし、警察署ごとに警察情報を発信することとした。

これによって、登録会員が必要とする警察署の情報を選択（複数選択可能）することができ、また情報についても3種類（①不審者情報 ②防犯情報 ③お知らせ）から必要なものを選択できるなど、会員のニーズに沿った内容とした。

また、不審者情報の中でも、子供対象、登下校中、凶器所持などの情報については、二次被害の発生が危ぶまれることから、被害防止に最大の重点を置き、その情報が100%虚偽と断定できない場合は、迅速に情報発信することとしている。

取組の成果（効果） ～ タイムリーかつ後手に回らない情報発信

事案発生時のタイムリーな情報発信（注意喚起と情報収集）が可能であり、児童対象又は登下校時の警戒を要する事案の発生時には、迅速な情報発信を行うことにより保護者、教職員等による警戒などに役立つとともに、保護者等、会員個々においても、自らにおいて犯罪から身を守るという防犯・犯罪回避意識の向上が見られるところである。

配信内容については、個々の登録者のほか自治体やマスコミ等からも好評を得ており、ケーブルテレビ、市町メール、中国新聞夕刊などに二次利用されている。

また、平成26年3月から積水ハウス株式会社と連携し、同社が建築した住宅等に設置されている「太陽光モニター」にも配信内容が二次利用され、県民への情報発信力の強化に繋がっている。

なお、不審者情報については、虚偽の疑いがある場合であっても、二次被害の発生を考慮し、後手に回らない迅速な情報発信を行っている。

※ 二次利用者数等

- | | |
|----------------------|-------------------------|
| ・ ひろしまケーブルテレビ 約12万世帯 | ・ 三原テレビ 約2万世帯 |
| ・ カモンケーブルテレビ 約1万世帯 | ・ 府中町防災・安全安心情報メール 約2万世帯 |
| ・ 中国新聞夕刊 約5万部 | ・ 積水ハウス 約60世帯 |

今後の展開 ～ 会員の拡大等と二次利用の推進

積極的な会員募集に努めて会員の拡大を図り、配信内容を充実させるとともに、県警メールマガジンの二次利用の拡大についても積極的に推進する。

また、積水ハウスの「太陽光モニター」については、これから建築される住宅にも設置され、さらに本年8月以降は、同社建築住宅の約3万5千世帯が、同社専用ホームページ上で配信内容を確認できるようになるなど、これからも二次利用者の増加が見込まれる。

他団体へのアドバイス ～ 情報発信に際しての留意事項

メールによる配信をしているため、一度配信してしまうと削除等は不可能であることから、発信情報については、誤った内容や不適切な表現を用いた内容の配信をしないよう、何重にも確認チェックを徹底する必要がある。

また、配信内容に個人情報を含めまいとするなど、プライバシー保護について徹底した配慮が必要である。